

生物育成記録表 評価規準

目標	
植物の栽培活動を通して、生物の生長に関する基礎的な知識を理解するとともに、観察・記録・考察を行い、生物を育成する技術を主体的に考える態度を養う。	
評価のポイント	
【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none">・1週間に2回以上の水やりを行っている。定期的に具体的な観察・記録を行っている。・収穫後に生物の記録を行い、収穫の記録を自己評価につなげられている。自己評価を具体的かつ論理的に記述している。かん水・間引き・追肥の大切さについて理解している。	
評価規準	
A(80%以上) 十分満足できる	定期的な観察・記録を行っている。 生物育成の結果を整理・表現し、既存の知識を活用しながら、具体的かつ論理的に分析・考察している。
B(50%以上80%未満) おおむね満足できる	断続的な記録や、一部の記録が行えていない。 生物育成の結果を整理・表現できているが、具体的かつ論理的に分析・考察できていない。
C(50%未満) 努力を要する	生物育成の記録が行えておらず、結果を整理・表現できていない。 未提出。

提出遅れは減点。